

西土佐中学校 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年11月15日(火) 第6校時

生徒数 16名

指導者 井上 忠和

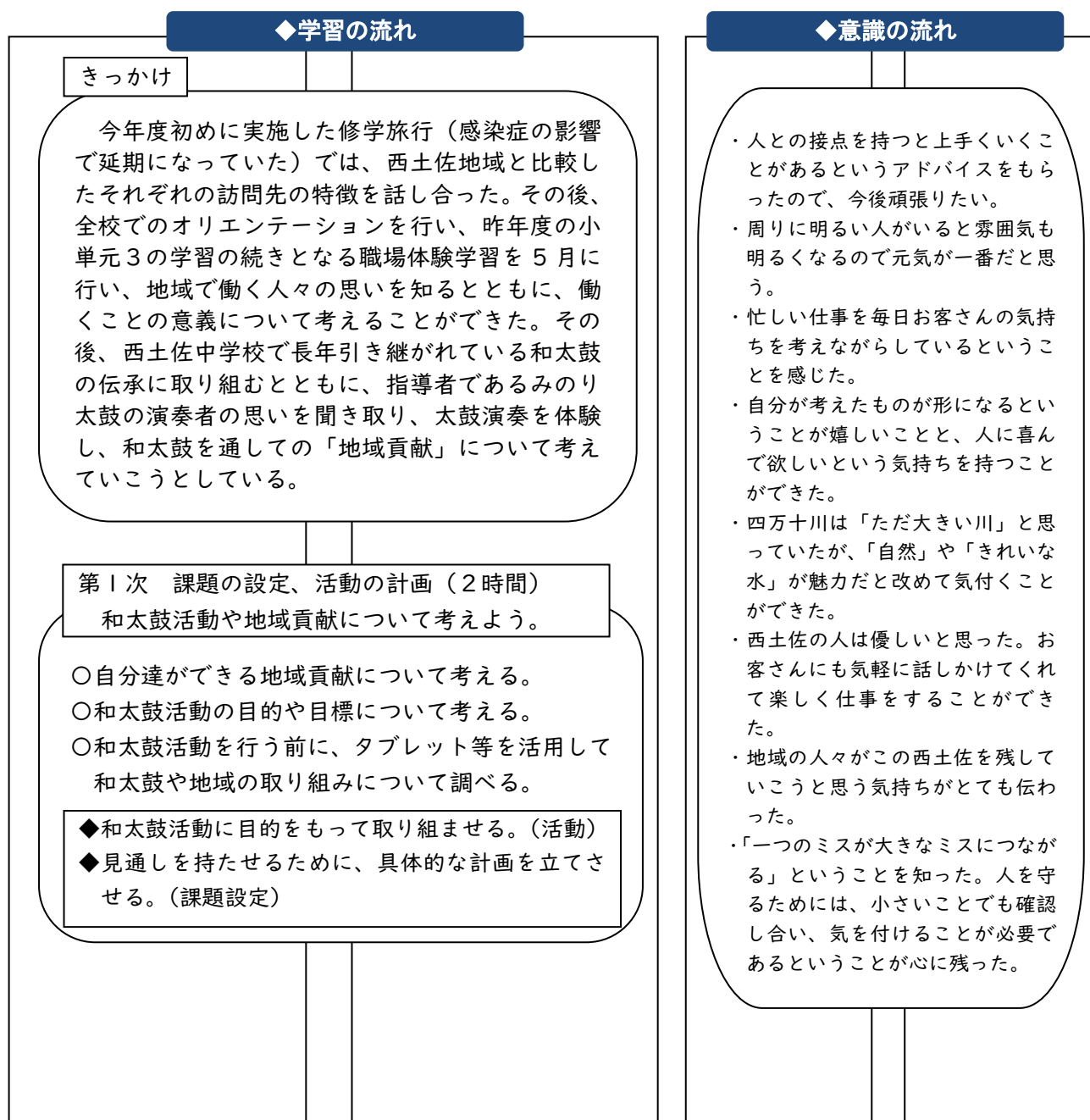
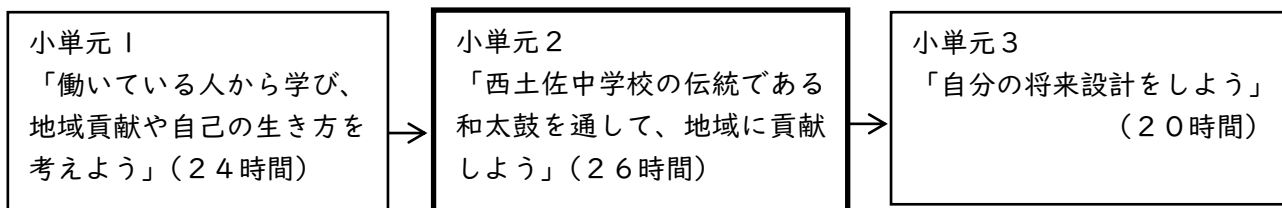
田村 恵助

石崎 桂

吉岡あいり

I 単元構想図

単元名	「自分発見 ～地域の思いを継承し、自己の生き方を考えよう～」全70時間
小单元2	「西土佐中学校の伝統である和太鼓を通して、地域に貢献しよう」(26時間)



第2次 情報の収集・活動（12時間）

和太鼓活動を通して、地域の人たちの思いを知ろう。

- 和太鼓活動を通して、地域の人たちと交流し、思いを聞く。

◆地域の方々の思いを知ることで、主体的に和太鼓活動に取り組ませる。（自己理解・他者理解）

第3次 整理・分析・まとめ（4時間）

西土佐中学校の伝統である和太鼓活動を、後輩に伝えよう。

- 文化祭でどのようにして伝えるか考える。
- 発表内容について具体的に検討する。
- 文化祭で、和太鼓活動を通して知った地域の方々の思いを伝える。
- 発表について振り返り、今後につなげる。

◆相手意識を持たせ、どのように発表することが効果的か考えさせる。（整理・分析）

第4次 まとめ（8時間）

和太鼓活動を振り返り、地域貢献について考えよう。

- 和太鼓活動、文化祭での発表についてアンケートや個人の振り返りをもとに振り返る。
- 20年後の西土佐地域の理想の姿を考える。
- その考えから、これから必要となる「地域貢献」とは何かについて考える。（課題設定）
- その意見をまとめ、客観的な意見を聞く。（情報の収集・活動）
- 客観的な意見などから、これから自分自身ができる地域貢献を考える。（まとめ・表現）

◆意見をまとめる中で、自分たちの地域貢献はどのようなものか考えさせる。（主体性・協働性）
◆タブレット等を用いて、相手に伝わりやすい発表ができるように工夫させる。（まとめ・表現）

- ・地域を盛り上げるためにも、後輩に西土佐中学校の伝統である和太鼓演奏を傳承するためにも、これからの練習を頑張りたい。
- ・16人で心をつにし、いい演奏をしたい。
- ・今城さんの太鼓への熱い思いに応えよう。
- ・一緒に練習してくれたみり太鼓の演奏は力強く、かっこよかった。自分達も同じような演奏ができるようになりたい。

- ・先輩の力強い太鼓演奏にただ憧れていたけど、今城さんや地域の人々の思いを聞き、太鼓演奏に対する責任感が重くなった。
- ・叩き方ひとつで音が全然違ったものになることを知った。
- ・太鼓だけでなく、声や身振りを大きくすることも大切だ。

- ・西土佐中学校の伝統を後輩に伝えることができ良かった。
- ・後輩や保護者の方が和太鼓演奏を喜んでくれて嬉しかった。
- ・文化祭での発表だけでなく、自分たちの和太鼓演奏を地域の人に聞いてもらいたい。そうすることで地域を盛り上げることができると思う。
- ・模擬議会で意見をいうなら、私たちが学習してきた地域貢献のことを言おう。
- ・四万十市は西土佐の活性化についてどんなことを考えているのか聞こう。
- ・地域貢献をし続けるために、私たちができることは何だろう。
- ・どんな思いをもって、これから生活していけばよいだろうか。
- ・今城さんからは、太鼓や西土佐を元気にしたいという強い思いが伝わってきたよね。
- ・西土佐に残る同級生は1人だったが、外に出たとしてもできる地域貢献もあると思う。
- ・これからも西土佐地域の人を笑顔にさせる活動をしていきたい。
- ・自分たちにできる地域貢献もたくさんあるんだな。

単元でつきたい力

- ・文化の伝承の大切さを知るとともに、その取り組みが自分自身や、西土佐地域のためになっていることに気付く。【知識及び技能】
- ・西土佐地域の継承者として、働くことへの思いを伝えるための課題を設定し、その解決に向けて情報を分類したり、効果を考えたりしながら適切な表現方法を組み合わせたりしている。【思考力、判断力、表現力等】
- ・課題解決に向けて、地域と自分の関わりに関心を持ち、将来に向けて今後の学習を積極的に考えようとしている【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

本単元は、西土佐中学校で長年伝承してきた「和太鼓」の活動を通して、文化伝承の意義を考えるとともに、これまで学習してきた豊かな自然に囲まれた西土佐地域について考え、地域の継承者として自己にできることは何か考え構想した内容である。日本を代表する四万十川や周りを山に囲まれた西土佐地域では、他の地域以上に高齢化・過疎化も進んでいる。このような地域の現状を実際に地域の人々の声を聞き、「地域を何とかしたい」との思いを抱く生徒も多数いる。その一方、将来地域に残る予定の生徒（県内も含め）は現状で10%に届かない。そこで、“今”できる地域貢献を考え実行すること、また地域の継承者として将来のことについて深く考えることができるようにしたいと考える。

○生徒観

本学級の生徒は、昨年2年時の総合学習「職業人に聞こう」で、西土佐地域の仕事に携わる方々から話を聞き、仕事に対する思いを知っている。本来なら関西地方への修学旅行で、西土佐地域の食品や食材を販売し、少なからず販売という仕事に対する苦労を体験するはずであった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行が3年時にずれ込み、旅行先が高知県内に限定され、関西での販売学習もなくなった。そこで、自分たちで栽培した米ナスを、昨年度秋に地域の事業所で販売学習を行い、仕事の大変さ楽しさを体験した。また生徒たちは西土佐中学校の伝統「和太鼓」の継承者として、昨年度末に地域の和太鼓指導者として長年お世話になっている今城さん、そして旧3年生と和太鼓伝承式を行うことで、伝承することの意義や地域で活動する思いなどを聞く機会を得た。

総合的な学習の時間授業評価アンケートでは、「総合的な学習の時間は楽しい。」「総合的な学習の時間で取り組んでいる課題を、自分のこととして考えている。」100%、「総合的な学習の時間では、自分から積極的に話しかけたり、発言したりしている。」80%、「自分の住んでいる地域が好きで、大事にしたいと思っている。」93.3%など、概ね肯定的な割合が高く、「総合的な学習の時間」に意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。ただ、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある」60%、「社会人になっても、自分の地域や高知県のためになる仕事がしたい。」66.7%と、地域貢献への意識が弱い傾向が出ている。

○指導観

小単元1「働いている人から学び、地域貢献や自己の生き方を考えよう」では、職場体験活動の中で、働くことの意義や苦労を知るとともに、働いている人々の思いやどのように地域貢献しているかなど、多くのことを知る機会となった。

小単元2「西土佐中学校の伝統である和太鼓を通して、地域に貢献しよう」では、西土佐地域の伝統文化について考える活動で、特に祭りには欠かせない「みのり太鼓」について指導してくださる今城久枝さんから太鼓への思いを聞き、生徒たちも太鼓を習うための思いをぶつけ、太鼓の継承者として文化祭で発表する。

小単元3「自分の将来設計をしよう」では、将来のための進路決定を控え、これから自分たちにできることはないか考えながら、今まで学んできたことを自己の進路選択に生かしていく。

本時では、文化祭の学習発表を振り返り、地域の継承者としてこれから自分たちにできる地域貢献について考え、今後の自己の生き方とのつながりもあわせて進めていきたい。そして、生活科・総合的な学習の時間の西土佐小中合同テーマである【「レッツ チャレンジ！ 西土佐っ子」西土佐を愛し、自分の思いを持って、行動する子の育成】に迫ることができたらと考える。

3 単元の目標

西土佐地域の伝統について学ぶ取組を通して、どのように西土佐地域がつながり地域の継承者として西土佐を支えるために様々なことに取り組んでいることを理解し、西土佐地域の活性化のために自分たちにできることを考えるとともに、自分の生活や行動に生かすことができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
<p>①文化の伝承の大切さを知るとともに、その取り組みが自分自身や他人のためになっていること、西土佐地域のためになっていることに気付いている。</p> <p>②収集した情報を、手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。</p> <p>③地域貢献について考えることが、将来の職業選択や今後の生き方に関わっていることを理解している。</p>	<p>①文化の伝承の大切さについて、関わっている人たちの考えと自分たちの考えを比較し、課題を設定している。</p> <p>②地域で文化の伝承に関わっている人々の思いや考えに関する情報を幅広く効率的に収集している。</p> <p>③他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、表現方法を組み合わせたりしている。</p> <p>④相手や目的に応じて、自分の考え方をまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、活動を振り返りながら次時に生かそうとしている。</p> <p>②地域と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活について積極的に考えようとしている。</p> <p>③地域をさらに活性化させる方法を主体的に考えるとともに、自己の生き方や地域の在り方について考えている。</p>

5 指導と評価の計画（全26時間 本時 26/26）

次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一 課題の設定	1 ～ 2	○和太鼓活動や地域貢献について考えよう。 ・和太鼓活動の目的や目標について考える。 ・地域の取り組みについて調べ、自分たちができる地域貢献について考える。	①	①	②	・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り
二 情報の収集	3 ～ 14	○和太鼓活動を通して、地域の人たちの思いを知ろう。 ・和太鼓活動を通して、地域の人たちと交流し、思いを聞く。 ・動画で自分たちの演奏を確認する。	②	②	①	・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り
三 整理・分析	15 ～ 18	○西土佐中学校の伝統である和太鼓活動を、後輩に伝えよう。 ・文化祭でどのようにして伝えるか考える。 ・発表内容について具体的に検討する。 ・文化祭で、和太鼓活動を通して知った地域の方々の思いを伝える。 ・発表について振り返り、今後につなげる。	②	③		・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り

四 ま と め ・ 表 現	19	○和太鼓活動を振り返り、地域貢献について考えよう。 ○和太鼓活動、文化祭での発表についてアンケートや個人の振り返りをもとに振り返る。 ○20年後の西土佐地域の理想の姿を考える。 ○その考えから、これから必要となる「地域貢献」とは何かについて考える。(課題設定) ○その意見をまとめ、客観的な意見を聞く。(情報の収集・活動) ○客観的な意見などから、これから自分自身ができる地域貢献を考える。(まとめ・表現) (本時)	③	②	②	・発言 ・ワークシート ・行動 ・振り返り
	26		④	③		

6 本時の指導

本時の目標	これまで聞いた地域の方々の地域貢献への思いや客観的な意見などから、地域をさらに活性化させる方法を主体的に考えるとともに、自己の生き方や地域の在り方について考えることができる。	
本時の評価規準	地域をさらに活性化させる方法を主体的に考えるとともに、自己の生き方や地域の在り方について考えている。【態】	
情報活用能力	地域と自分とのかかわり方を考え、これからの自分の将来に関連付けている。	
準備物	ホワイトボード (2枚) マーカー プロジェクター ワークシート 付箋	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. 前時の学習を振り返り、模擬議会議での返答を確認、共有する。(5分) 司会 2. 本時のめあてを確認する。(5分) ・めあてを発表する。	・市議会の方々は、西土佐地域を活性化するために、こんな風に動いてくれるんだな。 ・現実的に考えると、難しいこともありそうだね。 ・これから、私たちができる地域貢献とは何だろうか。	
想定めあて これから自分たちにできる西土佐地域に必要な地域貢献は何かを考える。		
3. 個人・グループ協議 (20分) ○司会を中心に、『これから自分たちにできる西土佐地域に必要な地域貢献は何か』を考える。 個人→班 【多面的に見る・多角的に見る】 【理由づける】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※意見が出ない場合 ・地域貢献は誰を対象にしているのか？ ・どうなれば地域貢献となるのか？ ・地域貢献は何のためにするのか？ について再確認する。 </div>	・高齢者や西土佐地域に住んでいる人、働いている人など西土佐に関わる全ての人が暮らしやすい地域になってほしい。 ・地域貢献をし続けるために、私たちができることは何だろう。 ・どんな思いをもって、これから生活していけばよいだろうか。 ・今城さんからは、太鼓や西土佐を元気にしたいという強い思いが伝わってきたよね。 ・西土佐に残る同級生は 1 人だったが、外に出たとしても、西土佐地域のお祭りや行事には積極的に参加	・地域をさらに活性化させる方法を主体的に考えるとともに、自己の生き方や地域の在り方について考えている。 【発言、ワークシート】

<p>4. 発表・共有（10分）</p> <p>5. 振り返り（5分） ○総合ノートに振り返りを書く。</p> <p>6. 評価（司会）（5分）</p>	<p>していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも西土佐地域の人を笑顔にさせる活動をしていきたい。 ・ラポールの方とともに、ボランティア活動をすることはどうだろうか。 ・自分たちにできる地域貢献もたくさんあるんだな。 <p>◇求める振り返り（目指す主体的な姿）</p> <p>◎地域を活性化するために、まずは自分がこの地域に残って生活することが大切だと思う。西土佐分校に進み、西土佐で就職するぞ。（地域の思いと自分の将来を関連付ける）</p> <p>◎高校から地域を離れるけれど、また戻ってこられるように、自分が西土佐地域に貢献できることを探し、実行していきたい。（地域の思いと自分の将来を関連付ける）</p> <p>○地域の祭りなど、参加人数が足りていないので、自分が参加できるものに積極的に取り組んで、西土佐地域を盛り上げていきたい。（理由づける）</p>	
--	--	--

7 板書計画

想定めあて これから自分たちにできる西土佐地域に必要な地域貢献は何かを考える。

「和太鼓を通して地域貢献しよう」
一音同体

地域貢献＝地域を笑顔に
→ 地域の役に立つ

稲田さん ・人口減 ・高齢化

- ・あいさつ ・祭りに参加
- ・ずっと西土佐に住む
- ・地域のものを使う
- ・地域清掃に参加する
- ・地域の情報を発信する

職場体験 ・人の役に立ちたい

- ・親の後を継ぐ
- ・観光客を笑顔に！

- ・和太鼓を続ける ・子どもを大切に
- ・長生きする ・コミュニケーションを大切に

これまでの生活の中で…

- ・あいさつ ・草刈り・祭り